

沖縄医学会雑誌投稿規程（令和元年 6 月改定）

1. 本誌への投稿者は、原則として沖縄県医師会会員とする。筆頭著者が会員でない場合、掲載料は全額自己負担（刷上り 1 頁あたり 15,000 円）とする。但し特別講演、シンポジウム、ミニレクチャー講師並びに沖縄県医師会医学会賞（研修医部門）受賞者は、この限りではない。
2. 投稿は、直前の沖縄県医師会医学会総会で発表された演題の中から各自の応募と座長推薦の 2 通りとし、投稿締切は、学会が開催された翌月の 15 日とする。採否については、編集委員会で決定する。審査は査読制を採用し、加筆・訂正などを求めることがある。
なお、すでに他紙に投稿、発表された論文は採用しない。
3. 人を対象とした研究については、ヘルシンキ宣言を遵守したものであること、また症例を提示する際（症例報告）は、患者さんのプライバシーの保護やインフォームドコンセントなどに関する倫理的な問題に十分配慮されていること。特定され得る疾病に関しては、本人の同意を得るよう配慮すること。
4. 読者対象は沖縄県医師会会員で、全科の医師が含まれる。そのため、読者が執筆分野の専門家とは限らないので、その点ご留意いただきたい。
5. 原稿の体裁・内容を確認した後、論文指導者（Senior Author）は投稿論文表紙にサインする。論文作成者が Senior Author の場合は自署する。

6. 執筆の方法

タイトルページ

原稿第 1 ページに投稿原稿の種類（原著または症例報告）、タイトル、氏名・所属（住所・TEL・FAX・E-mail）を明記する。筆頭著者が初期臨床研修医の場合は「初期臨床研修医」と明記する。さらに英文でのタイトル、氏名、所属を併記する。タイトルは 96 字以内とし、簡潔で内容を適切に示すものとする。タイトルに略語を用いてはならない。最後に Senior Author のサインを加える。原著ならびに症例報告の構成は下記のとおりとする。

【原著】緒言、対象と方法、結果、考察、結語で構成し、これに文献、図表の説明、図表を添付する。

【症例報告】緒言、症例、考察、結語で構成し、これに文献、図表の説明、図表を添付する。

なお、緒言・結語については下記点について留意すること。

①緒言：研究の目的あるいは症例を報告する意図を、簡潔に、かつ明確に表す。

②結語：結果と考察をふまえて、研究で判明したこと、症例の報告で読者に訴えたい点を、簡潔に、かつ明確に表す。

要旨・キーワード

原稿第 2 ページに、和文要旨（400 字以内）とキーワード（5 語以内、日本語と英語を併記）を記載する。

本文

- ① 一般講演原稿は、横書き、Word 様式（Microsoft2000 以降）で作成する。様式は、A4 版 400 字（20 字×20 行）とし、原著は原稿用紙 25 枚（10,000 字）以内、症例報告は原稿用紙 15 枚（6,000 字）以内とする。但し、図表は原稿用紙 1 枚（400 字）に相当する。
- ② 特別講演、シンポジウム、ミニレクチャー及びこれに準ずる講演原稿は、原稿用紙 30 枚（12,000 字）以内とする。但し、図表は原稿用紙 1 枚（400 字）に相当する。

- ③ 原稿にはページ数ならびに行数を明記する。
- ④ 句読点、括弧などは各 1 字分を費し、改行の際は冒頭 1 字分をあける。
- ⑤ 無用な外国語はできるだけ避ける。日本語化した外国語はカタカナ表記とする。
- ⑥ 数字は算用数字を用いる。ただし成語はそのままとする。例えば十数回。百分率など単位符号は次のような例による。

mm、cm、ml、dl、l、 μ g、g、mg、kg、 $^{\circ}$ C、など

- ⑦ 薬剤名は一般名を用い、必要ならば商品名は一般名のあとに ($\text{\textcircled{R}}$) のように記す。
(例：diazepam(Horizon $\text{\textcircled{R}}$))
- ⑧ 略語は最初に用いるときは必ず略さずに書く。
- ⑨ 図表、写真はそのまま製版できる明瞭鮮明なものに限る。写真は印画 (焼付) したもの、もしくは、データ等鮮明なものに限る。なお、レントゲンフィルム、スライドをそのまま提出することは、おことわりする。
- ⑩ 図表、写真はそれぞれ一枚ずつ別紙にまとめ、挿入場所は、原稿用紙の右欄外に指定し朱書する。写真は図として取扱い、表 1、図 2 などと記載する。
- ⑪ 図表、写真の裏には、著者名と演題番号を記入する。
- ⑫ 図表、写真のカラー印刷を必要とする場合は実費を徴収する。
- ⑬ 原稿を投稿するときは、必ずその写しを手元に保存する。
- ⑭ 引用文献は必要最小限度とし、本文中に記載した引用文献は引用順に番号をつけ、本文中に 1)、2) として引用箇所を明示する。その書き方は次の形式による。

雑誌の場合 著者名：論文題名. 雑誌名 発行年;巻:頁-頁.

例 寺島雅典, 他: 胃癌治療と DPC. 癌と化学療法 2007; 34: 35-40.

Olen GN, et al.: Pulmonary function evaluation of the lung resection candidate: a prospective study. Am Rev Respir Dis 1975; 111: 379-387.

単行本の場合 著者名：書名. 版数, 発行所, 発行地, 発行年: 頁-頁.

例 武藤敬, 他: びまん性汎細気管支炎. 大田保世編, 呼吸器病病学, 中外医学社, 東京, 1990: 161-167.

Menkes JH: Textbook of Child Neurology. 5th ed. Baltimore: Williams & Wilkins, 1995: 702-724.

ウェブサイトの場合 執筆者名 (編者名) : サイト名. URL (最終閲覧日)

例 運動器の 10 年・日本協会: 学校での運動器検診の手引き. http://www.bjd-jp.org/medicalexamination/guide_0.html (2017 年 6 月 1 日閲覧)

A) 3 名以上の著者のときは、はじめの方のみ氏名記載、以下は「他」または「et al」とする。

B) 題名 (欧文) は、はじめのみ大文字、ほかは小文字とする。

C) 雑誌の略名は、原則として、邦文誌は医学中央雑誌略名表、欧文誌は Index Medicus に準じてください。

7. 原稿を送付する際は、出力した原稿に図表を添付し、原稿と同一内容を入力した電子メディア (USB、CD-R 等) を添えて原則、書留郵送とする。(電話及び FAX による受付は不可)。

原稿送付先：〒901-1105

南風原町字新川 218-9

沖縄県医師会医学会編集委員会 宛

8. 著者校正は 1 回とする。その際、脱字、誤植以外の訂正、変更、削除、挿入は差し控える。

9. 別刷りは 30 部までは無料とし、それを超える費用は著者負担とする。

10. 本誌に掲載された内容に関する著作権は沖縄県医師会医学会に帰属するものとする。